

2025 年 4 月 25 日
住友金属鉱山株式会社
住友商事株式会社

チリ共和国ケブラダ・ブランカ銅鉱山開発プロジェクトの プロジェクトファイナンスにおける完工条件を達成

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：松本 伸弘）と住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：上野 真吾）が、カナダの資源メジャー企業テック・リソースズ（Teck Resources Limited、本社：カナダ プリティッシュ・コロンビア州バンクーバー市）とチリ共和国において共同で推進しているケブラダ・ブランカ銅鉱山の開発プロジェクト（以下、「QB2 プロジェクト」）について、本プロジェクトのために組成したプロジェクトファイナンス契約で定められた生産指標やコストなどの財務完工の条件を全て達成しましたのでお知らせいたします。

本プロジェクトファイナンス契約は株式会社国際協力銀行をはじめとした各国政府系銀行や、株式会社三井住友銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三菱 UFJ 銀行をはじめとした民間金融機関と締結した、総額 2,500 百万米ドルの協調融資貸付契約です。住友金属鉱山と住友商事は、テック・リソースズと共にこの契約に基づいて銀行団に対し権益比率に応じた完工までの債務保証（完工保証）を行ってきましたが、今回の財務完工の達成により、この完工保証は終了しました。

ケブラダ・ブランカ銅鉱山は、マインライフ 27 年（2023 年時点）と長期にわたる操業を見込み、今後 4 年間の年間銅生産量としては 23 万～31 万トン（銅量）を見込んでいます。また、1,500km 離れたサンチャゴ市内の統合オペレーションセンターから重機の遠隔監視・遠隔操作が可能な体制とするなど、最新の技術を取り入れた運営がされています。

住友金属鉱山は長期ビジョンにおいて銅権益生産量 30 万トン/年を目標としており、このたびのプロジェクトファイナンスの完工は、目標達成に向けた大きな足掛かりとなります。

住友商事は、QB2 プロジェクトの運営に参画し、再生可能エネルギーや EV の普及にあたり必要不可欠な資源である銅の安定供給に加え、周辺地域での雇用やビジネス機会創出など、地域経済の発展に貢献するべく、パートナーと共に尽力してまいります。



採掘が進むケブラダ・ブランカ銅鉱山のピット

<参考> ケブラダ・ブランカ（Quebrada Blanca）銅鉱山概要



位置 : チリ共和国タラパカ州 チリ北部

(サンチャゴ市から 1,500km、イキケ市の南東 240km 標高 4,400m)

出資比率 : 住友金属鉱山 25%、住友商事 5%、テック・リソーシズ 60%、コデルコ 10%

可採鉱量 : 銅 約 7 百万トン

資源量 : 銅 約 29 百万トン ※参入時（2019 年）銅量 約 18 百万トン

マインライフ : 約 27 年（可採鉱量分のみ） ※2023 年時点

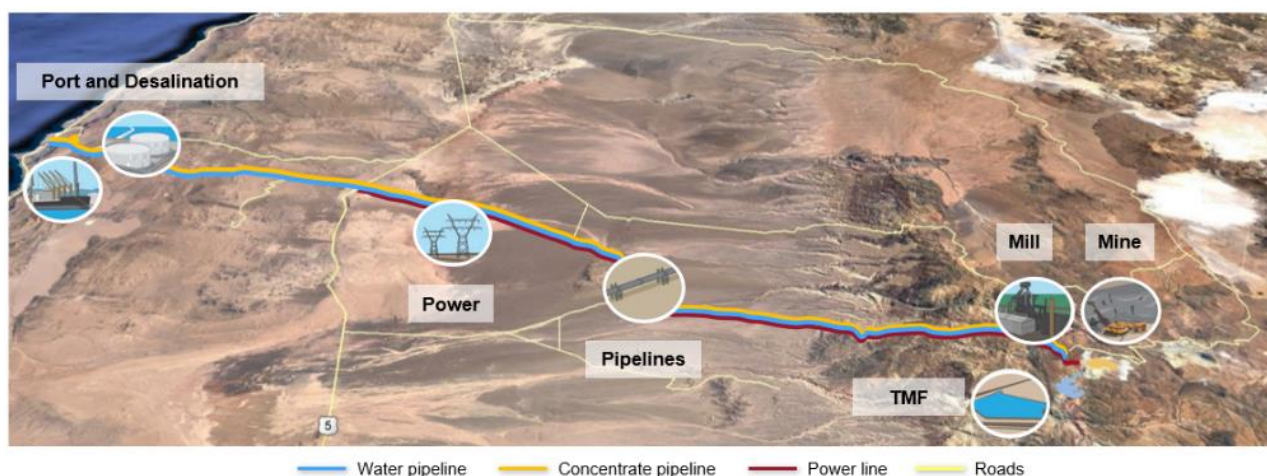
2025 年～2028 年までの年間生産量（含有金属量）：銅 23 万～31 万トン、その他モリブデン、銀

採掘方法 : 露天掘り

選鉱操業 : 浮遊選鉱により銅およびモリブデン精鉱を産出

QB2 プロジェクト施設配置図：

左から積出港と海水脱塩設備、送電線（紫色の線）、パイプライン（水色は淡水、オレンジは銅精鉱）、ケブラダ・ブランカ銅鉱山設備（Mill：選鉱場、TMF：尾鉱ダム、Mine：採掘ピット）



<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部

TEL: 03-3436-7705